



議員 石川和久 さん 21 歳

## 人口減少対策について

**問** 人口減少対策について、2期目となった現在の市長の見解を伺います。

**答** 市長 少しずつ人口減少を鈍化させ、持続可能なまちづくりをしていくことを目標に掲げ、そのためには、若い世代や子育て世代の移住定住を促進し、子育てしやすい環境を整える取組を進めていきたいと考えます。

## 教育行政について

**問** 現在の市内小中学校におけるICT機器の整備状況を伺います。

**答** 教育部長 1人1台タブレット端末を全小中学校の児童生徒に整備するとともに、書画カメラを全校に2台程度整備しました。

電子黒板は、小学校2校および中学校2校の全クラスに導入し、他の学校には、可動式電子黒板を各校1台程度

整備しています。

**問** 教室で児童生徒が使う、現行規格の机では、教科書やノートのほか、タブレット端末を併用するには狭すぎる、また老朽化による傷みが見受けられるなどの声を市民から聞きます。

現在の教育環境に対応した机や椅子等の学校用家具の整備についても、計画的に行う必要があると思いますが、状況を伺います。

**答** 教育部長 教科書やノート、資料集、タブレット端末等を活用しながら授業を進めているため、机の上が狭くなっていることは承知しており、教員が授業の進め方を工夫し、対応しています。

机や椅子は、子ども達の安全を第一に考え、教職員が定期的に確認し、老朽化したものは入替えを行うなど、順次整備しています。

**問** 学校間での教育の格差均等のため、計画的に整備していく必要があると思いますが、市の見解を伺います。

**答** 教育部長 市内の学校間で、教育環境に大きな差が生じないようにすることは大事であると認識しています。

今後は、ICT機器等を順次導入するための整備計画を策定し、各学校の教育環境を整えていきます。

**問** 山武市通学路交通安全プログラ

ムが改定され、市内全域の通学路を点検することとなりましたが、令和4年度の安全点検の状況を伺います。

**答** 教育部長 令和4年度の通学路合同点検では、各学校から報告のあった84か所の危険箇所について、市の土木課と教育委員会が現地を確認し、緊急性が高い14か所を優先的に取り組むこととしました。

令和4年6月には、山武警察署、千葉県山武土木事務所、市の土木課および市民自治支援課、PTA、校長会、教育委員会による合同点検を行い、役割分担や改善方法を検討し、順次、改善に向けて取り組んできました。

同年11月には、進捗状況確認のための会議を開き、すべて年度内に完了することを確認しています。

**問** 安全点検以外で、市民や保護者、学校からの情報提供や要望などには、どのように対応しているか伺います。

**答** 教育部長 令和4年度は、合同点検以外に33か所の情報提供があり、そのすべての現状を確認し、関係機関と協力しながら改善を行いました。

なお、情報提供者には、後日、対策の内容を説明し、御理解いただいています。

**問** JR成東駅東側の総武本線と東金線を横断する踏切(成東踏切)は、以前から歩行者の安全が危惧されています。

が、このような踏切部分を含めた通学路での安全対策について伺います。

**答** 建設環境部長 通学路安全点検の取組として、比較的規模の大きな案件は翌年以降の対応としています。が、それ以外は、当該年度内に対応することとしています。

なお、踏切部分については、JR東日本との協議が必要であり、交通量などの利用状況を踏まえながら、計画的に実施していきたいと考えます。



成東踏切

## 道路整備事業について

**問** 県道成田・成東線早船地先におけるバイパス整備の進捗状況を伺います。

**答** 建設環境部長 千葉県山武土木事務所へ確認したところ、測量調査および設計業務が終了し、現在、用地買収を進めており、まとまった用地が確保できた部分について、工事に着手していると聞いています。

**問** このバイパス整備に伴い、国道126号線に新たな十字路交差点ができる計画ですが、柴原踏切から向かうと国道交差点の手前が大きくカーブしてお

り、交通安全対策が必要と考えますが、市の見解を伺います。

**答** 建設環境部長 国道交差点手前のS字形態のカーブになっている路線は、市道柴原・木戸線で、現時点では交通安全対策の計画はありません。

しかし、バイパス整備の促進や道路の利用状況を踏まえ、必要な安全対策を考えていきます。

**問** 旧成東町の地域は、他の地域と比べて、幹線道路の整備が進んでいないように感じます。

圏央道山武成東インターチェンジから成東側に降りた県道では、旧山武町区間は整備されていますが、国道126号線までの旧成東町区間は、センターラインのない狭い道路となっているため、整備が必要と考えますが、市長の見解を伺います。

**答** 市長 旧成東町区域の都市計画道路の状況は、市域全体を見渡しても、整備が遅れていると感じています。

成東駅周辺の幹線道路整備は、市の財政上の制約から、成東駅の南北を同時に進めることが困難であるため、まずは成東駅の南側から整備することとし、現在に至っています。

なお、成東駅北側の整備については、整備に対する見解をまとめ、先日、山武市都市計画審議会に報告したところですが、今後は、千葉県と協議し、さらなる調整を進めたいと考えています。



議員 高尾正義 21 さん

### 地域振興について

**問** 人口減少が著しい山武市における地域の振興、特に、中心となる成東地区以外のエリアの振興について、市長の見解を伺います。

**答** 市長 人口の減少は、労働力の低下や消費の縮小、経済的活力の低下を引き起こすことで、地域の衰退が懸念される深刻な問題です。

市長就任以降、すべての施策を人口減少対策につなげ、少しでも減少の鈍化を図れるよう、さまざまな取組を実施してきましたが、特効薬はないということを感じています。

そのような中、本市では、若い世代を対象とした移住定住策に取り組んでいます。が、今後は、長生・山武・海匠の九十九里地域全体の連携の中で、この取組を推進していくことを検討しています。

多くの自治体で取り組む個々の策を全

体で進め、また、SNSも活用しながら、より多くの目に触れられる策を協議していきます。

### 蓮沼海浜公園の再整備について

**問** 開園から47年が経過した、蓮沼海浜公園の再整備に向けた検討会議の概要および検討状況について伺います。

**答** 都市整備課長 千葉県に確認したところ、検討会議は、公園の将来像や方向性を示した基本方針の策定にあたり、魅力向上や周辺地域と一体となった活性化等について広く意見を聞くため、学識経験者や観光関係者、県の関係部署、山武市の職員が委員となり、これまで3回開催しています。

また、年度内の基本方針策定に向けて、広く意見を聴くため、パブリックコメント※を実施しています。

※現在は終了しています。

なお、再整備の計画策定にあたっては、民間活力の導入による官民連携の公園施設再整備を目指しており、今後は、民間事業者に対して市場調査を行い、その結果を踏まえて、検討を進めていくと聞いています。

**問** 再整備計画の策定に、市の意見を反映することができるのか伺います。

**答** 都市整備課長 引き続き、地元

どについて検討していくと聞いています。

**問** 予算等の課題は多々ありますが、将来に向けて、蓮沼海浜公園がにぎわいを見せる九十九里地域の核となる施設となるよう、県への一層の働きかけを要望しますが、市の見解を伺います。

**答** 市長 これまでも再整備について、熊谷知事へ要望を行ってきたところですが、令和4年度から再整備の検討会議が設置され、市が意見を述べる機会ができたことから、通年型観光の課題への対応や海岸部利用の連携強化、周辺道路整備についても、意見を述べているところです。

今回の再整備は、千載一遇のチャンスであると捉えており、蓮沼海浜公園がよりにぎわうよう、再整備事業に全面的に協力していきたいと考えています。

**問** 令和4年9月定例県議会の終了後、熊谷知事と面会した際には、蓮沼海浜公園の整備なくして、外房地域の発展はありませんとの言葉を頂きました。

再整備実現に向け、事あるごとに要望活動を続けていただきたいと考えますが、市長の意気込みを伺います。

**答** 市長 現在、夏季はにぎわいがあります。が、それを通年型の観光に結びつけるという視点で、蓮沼海浜公園の魅力をもっと向上させることができるよう、しっかりと取り組んでいきます。